

企業理念 私たちは創造する科学を通じて「いのちと自然を守り育てる」こと

をメインテーマとし、安全・安心で豊かな社会の実現に貢献します。

現在の外部環境
内部環境

外部環境

- 人口の増加・食料需要の増加
- 気候変動の進行・生物多様性の喪失
- 環境保護要請の高まり
- エネルギー問題の深刻化
- デジタル技術の進化
- 暮らしの安全・安心への関心の高まり

インプット

人的資本
従業員数(連結): 2,124名

知的資本
研究開発費: 62億円
自社開発原体数: 20

製造資本
設備投資: 87億円
製造拠点(国内): 単体3拠点
/グループ9拠点

社会・関係資本
販売国数: 50カ国以上
海外売上比率: 60.3%

財務資本
総資産額: 2,269億円

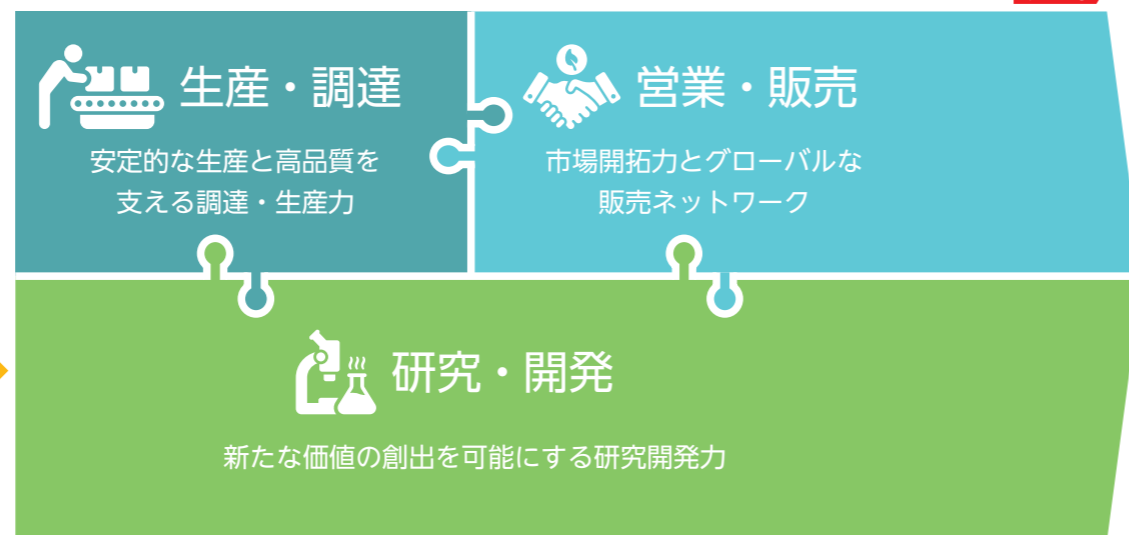
自然資本
原材料: 71,660トン
エネルギー使用量: 31,554
キロリットル(原油換算)*
※クミアイ化学グループ主要7社

現状とあるべき姿のギャップ
=マテリアリティ

現状とあるべき姿のギャップを経営課題としてのマテリアリティ(重要課題)として特定しその解決を通じてあるべき姿の実現と達成したい社会像の実現に貢献します

ビジネスモデル 事業活動によって刻々と変化する外部環境・内部環境に次なるインプットとビジネスモデルの深化につなげます

10~20年後の市場のニーズを先取りし、圧倒的なイノベーションで新たな価値を創り続けられる製販一体型の戦略・ビジネスモデル



持続可能な成長の実現のための戦略



成長実現のための基盤



代表的な製品 → P.5

農業及び農業関連事業

■ 国内向け農業
・水稲初・中期一発処理除草剤
・豆つぶ[®]剤 他

■ 海外向け農業

・アクシーブ[®]
・エフィーダ[®] 他



化粧品事業

■ 化粧品
・ウレタン関連製品
・有機塩素化合物
・ビスマレイミドモノマー
・クレープコントロール剤 他



事業活動を通じた社内外へのインパクト (2026年) → P.24

社外

社会価値

スマート農業への貢献
→ 豆つぶ[®]剤の拡大: 5品目 (2022年度から累計)

研究開発力の強化
→ 特許出願件数: 100件

環境価値

温室効果ガス排出量の削減
→ 2030年までに2019年比30%削減 (Scope1.2)
※クミアイ化学グループ主要7社

生物多様性への貢献
→ 育樹活動の支援、ビオトープの造成・維持管理

産業廃棄物の削減
→ 廃棄物ゼロエミッションの推進: 埋立処分率1%以下

社内

人財価値

労働安全衛生の推進
→ 休業災害件数: 0件

人権の尊重
→ 人権教育・研修、ハラスメント研修の社員カバー率: 100%

ダイバーシティ&インクルージョンの推進
→ 女性管理職の割合: 4.9%
男性の育児休業取得率: 100%

ワークライフバランスの推進
→ 平均年次有給休暇取得率: 70%
健康経営優良法人の認定取得

人財の育成
→ 1人当たりの研修時間: 25時間

経済価値

KPI
売上高: 1,850億円
営業利益: 160億円
ROE: 11.0%以上
ROS: 8.5%以上
※ROS:売上高営業利益率

あるべき姿

→ P.22

達成したい社会像

→ P.1